

気候変動を踏まえた流域治水プロジェクトの見直し



令和5年8月7日

気候変動を踏まえた治水計画への見直し

○治水計画を、「過去の降雨実績に基づく計画」から
「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直し

これまで

洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮・高波等を防御する計画は、
これまで、過去の降雨、潮位などに基づいて作成してきた。

しかし、
気候変動の影響による降雨量の増大、海面水位の上昇などを考慮すると
現在の計画の整備完了時点では、実質的な安全度が確保できないおそれ

気候変動による降雨量の増加※、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

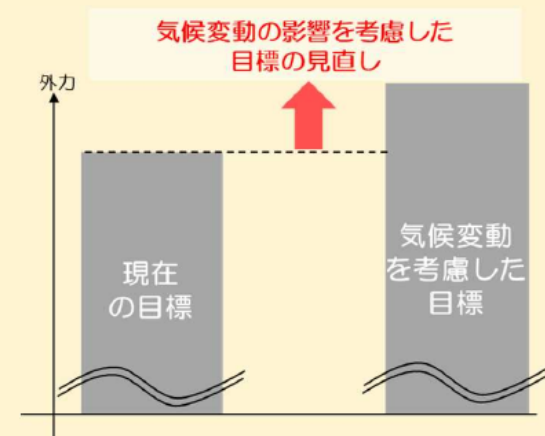
※ 世界の平均気温の上昇を2度に抑えるシナリオ(パリ協定が目標としているもの)

気候変動シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模(1/100等))
2℃上昇相当	約1.1倍

降雨量が約1.1倍となった場合

全国の平均的な傾向【試算結果】	流量	洪水発生頻度
	約1.2倍	約2倍

※ 流量変化倍率及び洪水発生頻度の変化倍率は、一級水系の河川整備の基本とする洪水規模(1/100~1/200)の降雨に降雨量変化倍率を乗じた場合と乗じない場合で算定した、現在と将来の変化倍率の全国平均値



気候変動を踏まえた流域治水プロジェクト見直しに関する主な意見

仁淀川の目標に関する意見

(第11回では、気候変動の影響を踏まえた目標設定や、八田堰上下流の目標流量を合わせることに對して特に意見は出ませんでした)

仁淀川上流域の対策に関する意見

- ① 大渡ダム改造等による効果的な洪水調節の検討は必要と考える
- ② 大渡ダムからの放流能力増大により、下流家屋の浸水被害が出ないように必要な対策を講じてほしい
- ③ 大渡ダム改造にあたっては、地すべり対策をしっかりと行うこと
- ④ 遊水地の検討にあたっては、地域の経済活動や環境面への影響を確認するなど、慎重かつ丁寧をお願いしたい

仁淀川本川の対策に関する意見

- ⑤ 河道掘削(12k2付近)は、13,300m³/s案が一番バランスがとれた目標流量と考えられる
- ⑥ 放水路の効果を発揮するためにも、本川の水位を下げる河道掘削をお願いしたい
- ⑦ 避難時間をかせぐ上でも仁淀川本川の河川堤防の強化や侵食対策をお願いしたい

支川の対策に関する意見

- ⑧ 基盤整備を実施した農地を遊水地にするのは難しい
- ⑨ 「田んぼダム」を全ての田んぼで実施することは難しいが、地道に進めて行きたい
- ⑩ 波介川本川の改修は引き続き実施してほしい
- ⑪ いの町の雨水排水ポンプの増強は前向きに検討したい
- ⑫ 日高村の雨水排水ポンプの増強は考えて行きたい
- ⑬ 日下川の特定都市河川の指定に向けて、流域自治体や国・県と連携して検討を進めたい。日高村の被害の軽減に向けて住民の理解を得ながら良い方法を考えたい

利水・環境・景観等に関する意見

- ⑭ 八田堰の改築は、景観を維持し、治水・利水を兼ね備えた改築となるように技術的検討をお願いする。地域との合意形成のための取り組みも必要である